横浜YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.491 2019

# YMCANews 3

2019年3月1日発行
（毎月1日・1回発行）
1988年1月27日第3種郵便物認可
定価50円
発行／公益財団法人横浜YMCA
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
Tel 045-662-3721

横浜青年

## 平和をつくる学びと分かち合いの時
## 第5回 横浜YMCA会員大会

横浜YMCAでは、2月11日に「第5回 横浜YMCA会員大会」を湘南とつかYMCAにて開催した。会員大会は、新しい維持会員（Yサポーター）を歓迎し、会員相互の親睦と交流、学びの機会として維持会員やプログラム会員とその家族、ユース、ボランティア、子どもたち、スタッフなど302人が参加した。

今年のテーマは「平和のつくり方～お話と歌と紙芝居とゲームとダンスで～」。オープニングセレモニーでは、平良愛香さん（日本キリスト教団川和教会牧師）が開会セレモニーを行い、「平和を実現する人は幸いである。（マタイによる福音書5章9節）」などの聖句が書かれたしおりを全員に配付し、参加者全員で読んだ。その後、紙芝居「おじいさんのできること」を紹介した。紙芝居の絵が横に約10メートルに連なり、参加者が協力して延びた部分を支え、戦争はやめようと呼びかけた。

その後、工藤誠一理事長が、「愛と平和を求め続けて、みなさんと平和を創ることの学びと分かち合いの時としましょう」とあいさつした。大会を主催した会員事業委員会の鈴木茂委員長は「平和を考え、平和の願いを共有する場、そして、地球全体の平和を願う、国連の定めたSDGs（持続可能な開発目標）の17のゴールのうち、自分が取り組みたい項目、横浜YMCAとして取り組みを期待することを選んでコーナーに貼ってほしい」と世界の目標にもある平和の取り組みをアピールした。

平和のメッセージでは「広島ピースキャンプ」に参加したアフタースクールの子どもたちの報告と身近にできる平和の取り組みなどが発表されたほか、平良愛香さんが、平和のつくり方と題して、沖縄の歌と話、ゲームとワークショップ、ダンスなど多様な手法で、参加者が楽しく参加しながら平和をどのようにつくっていくかを考える機会とした。平良さんは沖縄の基地問題にも触れ「今起きていることに目を向けて、真実を知り自分がどのように平和をつくることができるかを考え、行動し続けてほしい」と語った。

午後には「平和とつながるアクティビティ」が行われ、歩行測定（健康教育事業）や絵本・カロムコーナー（保育事業）、五輪検定クイズ（語学事業）、認知症サポーター養成講座（高齢者事業）、こんなときどうする（オルタナティブ事業）、異文化理解（専門学校事業）、ワイズメンズクラブ紹介コーナーなどが開催され、多文化共生や平和を考える取り組みが行われた。横浜YMCA田口努総主事は「会員の皆さまのお支えに感謝いたします。弱くされている人に連帯する試みが平和につながります。自分に何ができるかを考え行動していきましょう」と語った。

▲平和の学びと分かち合い、豊かな交流の時となった第5回 横浜YMCA会員大会

▲平和をテーマにした紙芝居「おじいさんのできること」は10mほどつながり、大会委員や有志が支えた。

### 留学生が自国フィリピンを紹介 言葉やゲームで楽しく異文化理解

専門学校事業では、YMCA国際ビジネス専門学校の留学生たちが、自国の「フィリピン」を紹介しました。子どもから大人まで、フィリピンを知らない人にも関心をもってもらおうと、観光地の紹介や、タガログ語であいさつを交わしたり、フィリピンのゲームを参加者と一緒に行い、楽しくフィリピンへの理解を深めました。

### SDGs 17のゴールを知ろう 自分事・YMCAとして取り組みたいこと

2016年から2030年までに達成しようと、2015年に国連総会で採択されたSDGs（Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標/エス・ディー・ジーズ）について、会員大会の参加者が自分事として取り組めることやYMCAとして取り組むことを期待したい目標をピックアップし、今後の働きについて考える機会を持ちました。

## ホドス

娘の中学の卒業式でした。卒業する自分の学年の合唱の「翼をください」の伴奏をしたのです。「今、願いことがかなうならば翼が欲しい。この背中に鳥のように、白い翼をつけてください。この大空に翼を広げ、飛んでいきたいよ…」のクラスの生徒たちの大きな声のハーモニーは講堂を圧巻しました▼何回か私の運転でスキーに連れて行った友だちの姿も見え、まさに大空に飛ぶような希望に満ちた光景は父親の心を熱くしてくれました。それから20年がたっても卒業式の季節になると、娘たちのあの特別の時を思いだします。あの卒業式の新しい出発のイメージ、翼を広げて大空に飛び立つ鳥、いかにもさわやかで力に満ちたものです▼ところで悲しみのない自由の空へ翼をはためかせたいとキラキラ歌ったあの子たちも、その後の卒業式も経て壮年期の入口に向かっています▼あの時の私の娘は、今仕事と3歳と5歳の子育てに奮闘しています。娘は多忙なこの頃の日常を、地面をチョコチョコと飛び歩く鳥スズメにたとえ、大空を飛ぶはずの足下は泥沼だ、今はゆっくり寝る時間が欲しいとなんとも現実的な言葉を吐いています▼私の励ましです。古代エジプトの白い羽毛のトキは長いくちばしをもち、人には分からない沼地の底に口ばしを入れて毎日餌を探しだしました。その能力を人は見て、知識の神トトの化身だと崇拝したのです。大空だけが人生でなく地面も沼地も素敵です。（準）

横浜中央YMCA／横浜北YMCA／藤沢YMCA／横須賀YMCA／川崎YMCA／厚木YMCA／YMCA ACT／鎌倉YMCA／YMCA山手台センター／湘南とつかYMCA／金沢八景YMCA／YMCA東とつかセンター／大和YMCAライフサポートセンター／横浜YMCAワークサポートセンター アンジュ／横浜YMCAワークサポートセンター レザン／YMCAあつぎ保育園ホサナ／YMCA山手台保育園アルク／YMCAとつか保育園／YMAマナ保育園／YMCAとつか乳児保育園／YMCAつるみ保育園／YMCAかわさき保育園／YMCAいずみ保育園／YMCA東とつか保育園／YMCA東かながわ保育園／YMCAたかつ保育園／金沢八景YMCA保育園／YMCAオペリン保育園／富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ／三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ／鶴見中央YMCA／YMCAライフサポートセンター鶴見／YMCAライフサポートセンター関内

# YMCA NETWORK NEWS

## 横浜専門学校生が卒業研究発表

卒業を目前に横浜YMCA学院専門学校、YMCA健康福祉専門学校、横浜YMCAスポーツ専門学校では、それぞれ卒業研究発表会が行われた。

このうち、1月19日に開催した横浜YMCAスポーツ専門学校の卒業レポート発表会では、スポーツトレーナーやスポーツインストラクター、サッカーコーチ、保育士、幼稚園教諭などを目指す学生が約1年かけて研究したテーマについて発表した。

45のテーマのうち事前に選出された「働く母親の感じる子育ての悩み－特にワークライフバランスに着目して－」「PNFストレッチとスタティックストレッチの違い」などの11のテーマは、1階ホールにて全学生・教員を前に全体発表を行った。投票の結果、「チェストパスのスピードをあげる方法」のテーマで発表したカーン・ニレッシュさん（スポーツトレーナー科）が最優秀賞を受賞した。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です
3 すべての人に健康と福祉を

# ライフステージに応じた未病改善の取り組み推進

## 超高齢者社会を幸せに生きるために

神奈川県では、ライフステージに応じて①子どもの未病対策　②女性の未病対策　③働きざかりのこころの未病対策　④生活習慣病対策　⑤介護予防・軽度認知障害対策という5つの重点ステージをあげて未病の改善にむけた施策を行っているが、YMCAにおいても神奈川県と連携してさまざまな年代の方に対する健康づくりのプログラムを展開している。

子どもの健康課題としては、関節が固くて腕を真上に上げられない、踵をつけてしゃがめない、転倒した際に手が前に出ないなど、「子どものロコモティブシンドローム（運動器疾患）」が注目されているが、YMCAでは3年前より、神奈川県から委託を受け日常的に乳幼児の指導をしている県下の保育士、幼稚園教諭を対象とした、年齢、発育に対応したキッズコーディネーション指導法講習会を行っている。

また、運動による認知症予防として、各地のYMCAでコグニサイズを5年前より行っているが、このコグニサイズの考え方をベースにした固定式運動バイク「コグニバイク」の普及活動を神奈川県から横浜YMCA学院専門学校作業療法科が委託を受け、県下の保健福祉センター等を会場に体験会を行っている。

▲歩行の姿勢やバランスをチェックし日常生活に活かせる歩行測定

YMCAにおいても、横浜中央YMCA（3月16日まで）、厚木YMCA（3月9日まで）にて体験が可能となっている。

3月3日（日）には、みなとみらい地区にある横浜ワールドポーターズにて神奈川県が主催する「かながわ女性の健康未病改善フェア」に、横浜YMCAも出展する。

このフェアでは、「学んで、知って、セルフプランニング」をテーマに各企業、団体による、各種健康チェック、健康アドバイスを行うもので、横浜YMCAとしては、歩行姿勢年齢測定と健康運動指導士によるワンポイントアドバイスを行っていく。

全ての世代が未病を自分のこととして考え行動し、超高齢社会を幸せに生きるには、未病改善が大切であるという価値観を文化として育て、未病改善について学び、ライフステージに応じた取り組みを展開するために、横浜YMCAでは、今後も行政との連携により幅広い年代層の健康づくりを推進する。

## いじめのない世界を創ろう ピンクシャツデーに取り組む

「いじめのない世界をめざそう」と横浜YMCAでは、2月に世界的ないじめ反対運動「ピンクシャツデー」に全国のYMCAや地域とともに取り組んだ。

▲33年間不登校の子どもたちに寄り添っている西野博之さんを囲んで

2月7日には、横浜中央YMCAにおいてピンクシャツデー講演会「子どものいのちに寄り添う～SOSに気づくために～」をテーマに、西野博之氏（認定NPO法人フリースペースたまりば理事長）を迎え、33年間にわたる不登校の子どもたちとの関わりから、いのちに寄り添うためのヒントを参加した51人が学んだ。参加者からは「生まれてくれてありがとう。あなたがいてくれて幸せと言い続けたい」と感想があった。

このほか各YMCAでは、メッセージボードに、それぞれの思いを貼付しピンクのシャツを作成したほか、紙芝居を用いて理解を深めた。

また、神奈川県や横浜市、地域の企業や団体などで行った「ピンクシャツデー2019 in 神奈川」は、27日に新都市プラザで多くの人にいじめをなくそうと呼びかけた。当日はみなとみらいの観覧車などがピンク色に染まり、地域での取り組みがさらに広がった。

## Topics

### 横浜YMCA対人地雷をなくす会活動終了 名称変更し、カンボジアの平和活動継続

カンボジアで装具士を育成する取り組みを1998年4月からスタートした「横浜YMCA対人地雷をなくす会」（岡戸良子代表／横浜YMCA常議員・鎌倉YMCA運営委員長）は、2019年3月末に活動を終え、あらたにサムレーンアプサラ（The Voice of Angel）と名称を変更し、カンボジアはもとより世界の人とともに保全と平和のために活動を続けていくことになりました。

カンボジアの戦争生存者の次世代への教育支援活動は、2013年に開始したカンボジアYMCAのストリートチルドレンへの支援からはじまり、横浜YMCAの国際・地域協力募金によるシェムリアップでのチャイルドケアセンターの教育・自立支援へとつなげることができました。

2018年11月24日にみなとみらいホールで行われた第20回チャリティーコンサートにおいて岡戸良子代表は、20年を振り返り「一人ひとりがもっている可能性を信じて教育という現場で花を咲かせることができました」とあいさつしました。

▲昨年11月のチャリティーコンサートを運営した横浜YMCA対人地雷をなくす会とボランティアのみなさん

### 今月の「平和の川柳」

焼け野原
一生ずっと
見たくない

YMCA高等学院　ペンネーム もりのくまさんJr.さん

## ♫子育てランド♪心が動く時大切に

今、アクティブラーニングが注目を集めています。このアクティブラーニングは子どもたちが遊びや活動を通して、自分で気が付いて、自分で学ぶことを大切にすることで、今まで保育園でもっとも大切にしてきたことです。

YMCAつるみ保育園では、定期的に水や土、布や紙などさまざまな材料や自然なものを使い造形遊びを行っています。1月に行われた果物の皮を使った活動では、「わぁ、いいにおい」とみんな目を輝かせていました。感触やにおい、音など五感を使った活動は、「不思議」「おもしろい」など子どもたちの計り知れない想像力をかき立てます。布をちぎる活動では「なんでビリビリっていうの？みんなに声があるように布にも声があるんだね」という素直な声も聞かれました。大人が促したり声を掛けたりするのではなく、子どもが自然に心を動かされ、自分から触れたり、見たりすることで初めて気が付き、学べることも多いのです。

子どもの心が動く瞬間を見逃さないで、共感していきたいですね。

（YMCAつるみ保育園
副主任　中瀬竜太）

## 横浜 バレンタインに東北チョコ支援

横浜中央YMCAでは、東日本大震災復興支援の取り組みとして、2月4日から「チャリティーバレンタイン」を行い、宮城県の利き酒ショコラ、福島県のこだわりチョコラスク、林檎ジュレショコラなどバレンタインデーを前にチョコレートを取り寄せ物産展を行った。福島県会津に伝わる赤ベコや宮城県の通信こけしなどの民芸品も並べられた。

横浜YMCAでは、東日本大震災のあった3月11日の前後に各YMCAにおいてイベントや物産展などを行なう「3・11をわすれない…」が開催される（詳細4面）。

## こもれび 忘れない つながる

総主事　田口　努

たった一人では
本当にか弱い
この世界は
あまりにも広すぎる
だから手をつなぎませんか
そうして生きていきませんか
わたしもまた悲しくて
いつも手探りしています
あなたと同じなのです
分かち合いませんか
大地よ　静まれ　どうか
祈りを涙を
分かり合いませんか

「揺れ」（作詞　和合亮一）

昨年の北海道の地震から一カ月目に、北海道新聞に「福島から北海道のみなさまへ」というお見舞いの4編の詩が掲載され、そのひとつが「揺れ」だ。他に「決意のあいだ」「祈り」「牛と」という詩があり、どの詩も心を打つ。

詩の掲載の費用をサポートした団体名を見ると、福島県全てにおよぶ地名の企業、自治体、ボランティアグループなど44団体の北海道を応援する思いがあふれているのを感じる。

東日本大震災から8年目を迎えるが、まだ復興半ばで全国の避難者5万3千人のうち、福島県だけで4万2千人にのぼる。地震、津波に加えて原発事故による帰宅困難地域が存在し、今でも福島のテレビや新聞で放射線量測定値が報道されている。

福島の人びとは「いつも手探り」という言葉の通り過ごしているが、全国からの励ましに感謝しつつ、各地での災害を自分事に置き換え、思いを込めてエールを北海道に送ったのだと思う。被災地のこれからの苦難を忘れないでという思いもあるのだろう。

横浜YMCAは、未だに自然の中で十分に遊べない福島の幼稚園や保育園の子どもたちを富士山YMCAに招く活動を続け、被災者を忘れない、つながる活動を続けていく。

# グローバル・エコ・ヴィレッジで自然エネルギーを導入

## 三浦YMCAと富士山YMCAで持続可能な地域づくりを

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジと富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジの二つの野外教育施設では、今年1月に再生可能な自然エネルギー発電所の電力の利用を開始した。横浜YMCAは、自然エネルギーを導入することにより、SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みを進めるとともに、グローバル・エコ・ヴィレッジを利用する子どもから高齢者までのあらゆる世代に自然を大切にする心を育み、持続可能な社会づくりを自分事として捉える機会につなげていく。

▲1月から再生可能な自然エネルギーを導入した三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ

二つのグローバル・エコ・ヴィレッジは、みんな電力株式会社（東京都世田谷区／以下みんな電力）と契約を締結し取り組んでいる。みんな電力は、電力の生産者の想いや願いを汲み取り、環境、地域、社会に優しい「顔の見える電力」の供給を行っている。再生可能なエネルギー100％で企業経営を行う「RE100」の企業ニーズにも応えている。横浜YMCAは「顔の見える電力」を導入することで、地域に根ざした再生可能なエネルギー発電所の拡大と持続可能な地域づくりに貢献していきたいと考えている。

経済産業省資源エネルギー庁によると、東日本大震災以降、温室効果ガスの排出量は増加し、2013年度には過去最高の排出量を記録した。こうした中、2016年に発効したパリ協定においては、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より低く保ち、1・5度に抑える努力をする。そのため、できるかぎり早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21世紀後半には温室効果ガス排出量と（森林などによる）吸収量のバランスをとることなどが合意されており、パリ協定の中で温室効果ガスの排出量を削減していくことが必要となる。再生可能なエネルギーは温室効果ガスを排出しないことから、パリ協定の実現に貢献することができる。

日本のエネルギー供給は、石油や天然ガスなどが8割以上を占め、ほとんどを海外に依存している。特に東日本大震災後の日本のエネルギー自給率は、10％を下回りエネルギーの安定した供給を図ることが重要である。横浜YMCAでは、今後も各施設への導入を検討していく。

# YMCAの使命に賛同する賛助会企業と地域活動展開

横浜YMCA賛助会は、横浜YMCAの青少年育成や地域の人びとともに平和な社会を創ることを目指す目的と願いに賛同し、その活動を援助、支援する法人により構成する会員組織となっている。

2018年度の賛助会の活動は、児童養護施設の子どもたちとのふれあいイベントや企業訪問などが行われた。

横浜YMCA賛助会への参画は、「地域貢献や国際協力活動の支援につながり、企業の社会的責任（CSR）の実践につながっている」と参加した企業の担当者は感想を語った。

**【2018年度賛助会入会会社】**

厚木ティービルサービス(有)、(株)安藤スポーツ、アンドウ電気照明(株)、(株)伊藤園、上野トランステック(株)、小倉会計事務所、(株)神奈川新聞社、川本工業（株）、(株)共栄社、(株)崎陽軒、扶桑電機(株)、協同電気(株)、(株)グリーンハウス、(株)サカクラ、(株)サス・スポーツプロダクト、(株)ジャパンビバレッジセントラル、湘南ひかりのくに(株)、大成建設(株)横浜支店、(株)ダイイチ、ダイドードリンコ(株)、タカナシ乳業(株)、タカノ(株)、(株)テレビ神奈川、(福)東京コロニー東京都大田福祉工場、戸田建設(株)横浜支店、ナショナル・ベンディング(株)、(株)日栄ビルサービス、日興テクノス(株)、(株)日新、日立キャピタル(株)首都圏支店神奈川営業所、(株)フェアスタート、藤木企業(株)、富士ゼロックス神奈川(株)、富士倉庫(株)、(株)ホテル、ニューグランド、(株)横浜ポンパドウル、丸全昭和運輸(株)、三丸興業(株)、(株)大和生花店、(株)有隣堂、(株)ヨコソー、(株)ヨコソー横須賀本社、横浜エレベータ(株)、(株)横浜銀行、横浜商工会議所、(株)横浜スタジアム、株式会社YSGホールディングス、(特非)よこはま地域福祉研究センター、(有)横浜雪屋、ヨシダ電子(株)、理想科学工業(株)横浜支店、(有)ワイコーポレーション(順不同・敬称略　1月31日まで)。2018年度のサポートに感謝いたします。

# FLASH NEWS

2月10日から「第23回ミャンマー・ボランティアの旅」が始まった。今回から新たな活動地としてタングーYMCAと協働し、介護やリハビリテーションの支援活動を行なっていく。タングー近隣から30人が講習会に集まり、初日には介護の現状や個人の困りごとの聞き取りなどが行われた。日本からは社会福祉士、医師、看護師、理学療法士、専門学校生が参加し、日本での介護の方法などを紹介した。最終日には参加者の村を実際に訪問し、ミャンマーにあった自宅での状況改善を検討する。

日本YMCA同盟東山荘（御殿場市）で開催されるアジア・大平洋YMCA大会／9月2日（月）～6日（金）ならびにユースアッセンブリー／8月31日（土）～9月2日（月）の申し込み受け付けが始まっている。早期申し込み締め切りは3月15日（金）まで。通常申し込みは6月15日（土）まで。詳細は、国際・地域事業または日本YMCA同盟ポジティブネット創造部 ichiki@ymcajapan.org へ。

## ワイズコーナー　チャリティー芸能祭りを開催！

金沢八景ワイズメンズクラブ

金沢八景ワイズメンズクラブでは、東日本大震災復興支援、被災地支援を継続しています。

5月25日（土）には、金沢公会堂（金沢区）にて「金沢芸能祭り」を開催します。内容は、日本舞踊の発表やカラオケなどで、毎年110名ほどの演技者、観覧・応援に300名ほど集まるお祭りです。

芸能祭りでは、復興支援等のアピールを行い、募金を呼びかけます。この募金と収益金をあわせ、11月に行われる国際・地域協力募金活動に寄付を予定しています。一昨年度は約13万円の支援金を届けることができました。今回も東日本区のワイズメンズクラブの仲間との交流や被災地の支援につなげていきます。

（金沢八景ワイズメンズクラブ会長　若林 諒）

| | |
|---|---|
| 横浜中央YMCA | ☎045(662)3721 |
| 横浜北YMCA | ☎045(433)4321 |
| 藤沢YMCA | ☎0466(26)1151 |
| 横須賀YMCA | ☎046(834)5811 |
| 川崎YMCA | ☎044(932)2031 |
| 厚木YMCA | ☎046(244)4181 |
| YMCA ACT | ☎045(316)1881 |
| 鎌倉YMCA | ☎0467(24)7859 |
| YMCA山手台センター | ☎045(813)1022 |
| 湘南とつかYMCA | ☎045(864)4768 |
| 金沢八景YMCA | ☎045(782)3003 |
| YMCA東とつかセンター | ☎045(392)3747 |
| 大和YMCAライフサポートセンター | ☎046(264)3192 |
| 横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ | ☎045(867)0090 |
| 横浜YMCAワークサポートセンターレザン | ☎045(860)5252 |
| YMCAあつぎ保育園ホサナ | ☎046(222)8619 |
| YMCA山手台保育園アルク | ☎045(813)1022 |
| YMCAとつか保育園 | ☎045(870)3663 |
| YMCAマナ保育園 | ☎045(790)3588 |
| YMCAとつか乳児保育園 | ☎045(870)3235 |
| YMCAつるみ保育園 | ☎045(500)5030 |
| YMCAかわさき保育園 | ☎044(520)1825 |
| YMCAいずみ保育園 | ☎045(800)3010 |
| YMCA東とつか保育園 | ☎045(820)5588 |
| YMCA東かながわ保育園 | ☎045(440)3763 |
| YMCAたかつ保育園 | ☎044(281)7833 |
| 金沢八景YMCA保育園 | ☎045(353)5130 |
| YMCAオベリン保育園 | ☎042(707)9974 |
| 富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ | ☎0544(54)1151 |
| 三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ | ☎046(888)2100 |
| 鶴見中央YMCA | ☎045(508)7800 |
| YMCAライフサポートセンター鶴見 | ☎045(506)0131 |
| YMCAライフサポートセンター関内 | ☎045(680)6680 |
| 本部事務局 | ☎045(662)3721 |

# INFOMATION

横浜YMCA

## レクチャー

**■イングリッシュセミナー**
日　時　3月15日（金）午前10時～正午
会　場　鎌倉YMCA　201教室
テーマ　The different approaches to concerts in Europe and in Japan
講　師　Mari Teradaさん
参加費　会員1,100円、一般1,400円
申込み　鎌倉YMCA　☎0467(24)7859

## キリスト教理解

**■聖書からの学び**
日　時　3月7日（木）
午前10時30分～11時10分
会　場　湘南とつかYMCA　2階教室
講　師　堀野浩嗣氏（横浜戸塚バプテスト教会牧師）
テーマ　「主イエスと出会う」
参加費　無料
問合せ　湘南とつかYMCA　☎045(864)4768

**■聖書を読んでみよう会**
日　時　3月19日（火）午後6時30分～8時
会　場　横浜中央YMCA 6階教室
テーマ　「ヨハネによる福音書を読む」
参加費　無料
問合せ　横浜中央YMCA　☎045(307)7556

**■聖書に聞く「旧約聖書が語りかけるもの」**
日　時　3月15日（金）午前11時～正午
会　場　横須賀YMCA
テーマ　「王の時代　王国分裂」
参加費　無料
問合せ　横須賀YMCA　☎046(834)5811

## イベント

**■輪 和 Waコンサート**
日　時　3月2日（土）午後1時30分開演、午後1時開場
会　場　大和市保健福祉センターホール（小田急江ノ島線「鶴間駅」下車徒歩5分
出　演　西口典子＆すすきだ音楽隊
内　容　障がい児・者と楽しむコンサート
入場料　1,000円
主　催　大和YMCA「輪 和 Waコンサート」実行委員会
申込み　大和YMCAライフサポートセンター　☎046(264)3192

**■東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート**
日　時　3月10日（日）午後2時開演　午後1時30分開場
会　場　湘南とつかYMCA
内　容　第1部　うたごえ広場、第2部　ピアノなどによるコンサート
参加費　前売り800円、当日1,000円
申込み　湘南とつかYMCA　☎045(864)4768

**■舞岡さんままつり**
日　時　3月10日（日）
午前10時～午後2時
会　場　横浜市舞岡地区センター
内　容　東北物産展、よさこい踊り、さんま焼き（正午～）など
問合せ　横浜市舞岡地区センター　☎045(824)1915

**■3.11をわすれない…つながる 東日本大震災から8年目の集い**
日　時　3月11日（月）
午後6時30分～7時30分
会　場　横浜中央YMCA
内　容　東日本復興支援活動報告
問合せ　本部事務局　☎045(662)3721

**■藤沢YMCA40周年記念礼拝・ホームカミングパーティー**
日　時　3月17日（日）午後2時～4時
会　場　藤沢YMCA
内　容　感謝礼拝・祝会
問合せ　藤沢YMCA　☎0466(26)1151

## カルチャー

＜なつかしい童謡や唱歌を歌います＞

**■北YMCA　うたごえひろば**
日　時　3月12日(火)午後12時40分～2時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　北YMCA 3階スタジオ
参加費　300円
申込み　北YMCA　☎045(433)4321

**■湘南とつかYMCA　うたごえひろば**
日　時　3月19日（火）午後2時～4時
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　湘南とつかYMCA 1階ホール
参加費　300円
申込み　湘南とつかYMCA　☎045(864)4768

**■藤沢YMCA　うたごえひろば**
日　時　3月15日(金)午後1時15分～3時15分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　藤沢YMCA
参加費　300円
申込み　藤沢YMCA　☎0466(26)1151

**■厚木YMCA　うたごえひろば**
日　時　3月26日（火）午後2時～3時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　厚木YMCA
参加費　500円
申込み　厚木YMCA　☎046(222)8619

**■生麦地域ケアプラザ　うたごえひろば**
日　時　3月20日(水)午後1時30分～3時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　生麦地域ケアプラザ（横浜YMCA運営委託）2階多目的ホール
参加費　100円
申込み　生麦地域ケアプラザ　☎045(510)3411

## 子育て支援

**■横浜子育てサポートシステム入会説明会**
日　時　3月15日(金)、*20日(水)、26日(火)午前10時30分～11時30分、*午後1時30分～2時30分
会　場　中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
対　象　横浜子育てサポートシステムに入会を考えている方
問合せ　横浜子育てサポートシステム中区支部事務局　☎045(663)0676

## 学校説明会

**■横浜YMCA学院専門学校作業療法科**
日　時　3月9日(土)午前10時～12時30分
内　容　学校説明会
申込み　☎045(641)5785

**■YMCA健康福祉専門学校**
日　時　3月9日(土)、23日(土)午後2時～5時
内　容　学校説明会
申込み　☎046(223)1441

**■横浜YMCAスポーツ専門学校**
日　時　3月29日(金)
午前9時30分～12時30分
内　容　保育園見学・保育士体験
申込み　☎045(864)4990

**■YMCA国際ビジネス専門学校 観光ビジネス科**
日　時　3月9日、16日(土)午前10時～正午
内　容　学校説明・体験授業（9日）・入試対策会（16日）
申込み　☎044(932)2015

※各校とも入試を行っています。詳細は電話、HPにて各校へお問い合わせください

## ボランティア情報

**■子育て応援ボランティア説明会**
日　時　3月29日（金）午後2時～3時
会　場　中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
問合せ　中区地域子育て支援拠点のんびりんこ　☎045(663)9715
○お気軽にお問い合わせください。

**2019年 維持会員（Yサポーター）受付中　お問い合わせ、お申込みは各YMCAへ**

## My Y Story 110

# YMCAの使命をしっかりと若い人に受け継いでいきたい

YMCA ACT運営委員
子ども支援基金委員
山村　まゆみ

1994年、アジア初のエイズ国際会議が横浜で開催された際に、会議に参加できない人たちに向けての「AIDS文化フォーラムin横浜」で、多くのスタッフの方と出会ったことが、YMCAと今日までつながることになったきっかけです。そこでの多くの学びと、たくさんの人びととの出会いは、かけがえのないものとなりました。

幼少期に教会学校でキリスト教と出会い、キリスト教主義の学校の教員として約20年働き、YMCAとつながり、現在はキリスト教の理念に基づいて建てられた介護施設において働けることは、神様が私の人生の歩みを導いてくださっていると改めて感じています。

ここ数年は「世界がもし100人の村だったら～エイズバージョン」というYMCA ACTのプログラムの一つを、スタッフやボランティアの方と一緒に、市内の学校に出向いて特別授業の実施やAIDS文化フォーラムに参加しています。また、湘南とつかYMCAではマシンルームのスタッフや新体操クラスのリーダーを担当しています。年齢・性別に関わらず、多くの方との出会いはYMCAの賜物と感謝しています。

▲AIDS文化フォーラムin横浜で「世界がもし100人の村だったら～エイズバージョン」を担当（右から2人目/2016年8月）

以前、YMCAのプログラムに参加した、子どもたちの感想の中に、「素敵なリーダーと出会い、将来は自分もリーダーになりたい」との声を聴いた時には、YMCAの使命が伝わったのだとうれしく思いました。

ここ数年は新体操クラス終了後も、技術指導のみでなく、YMCAの使命をしっかりと受け継いで、子どもたちに伝えてくださっている中高・大学生のリーダーが続いています。かつては、リーダーになりたいと、熱い想いを持った若者が多くいらしたと伺っていますが、時代の流れが変わってきている今、出前授業でも若い人たちと出会う機会が多い私の使命は、YMCAでの楽しさを「みつけ」、共感して永く「つながって」YMCAが「よくなって」いけるよう、さまざまなプログラムに関わってもらえるリーダーを育てていくことに、微力ではありますが、関わっていきたいと思っています。

▶東日本大震災から8年。「3.11をわすれない…つながる」の取り組みを継続して各YMCAにて行います。多くの方とともに支援の輪をさらに広げていきたいと思います。皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。（直）